

日本フンボルト協会 2018 年度第 3 回常務理事会 議事録

日 時：2019年3月24日(日) 14時から17時まで

場 所：ドイツ学術交流会内会議室

出席者：櫻田嘉章理事長、縣公一郎副理事長、伊藤眞副理事長（関東甲信越支部長）、
西川伸一副理事長（関西支部長）、居城邦治（北海道支部長）、木村理（東北支部長）、
種村眞幸（中部支部長代理）、浅田和茂、岡林洋、梶英輔、高橋宗五、高橋輝暁、
鏑田武志、伏木信次 事務局：関映子

議題

(1) 総会の式次第確認

6月2日ドイツ文化会館ホールで開催予定の総会式次第について審議の結果、以下の要領で行うことが確認された。

- 12:00～13:00 常務理事会・理事会合同会議 会場：調整中
- 13:20～14:00 日本フンボルト協会 2019 年度会員総会 会場：ドイツ文化会館ホール
1. 理事長挨拶
 2. 活動報告と決算
 3. 活動方針と決算報告
 4. 役員改選について
 5. 支部長の交代
 6. その他
- 14:00～15:00 講演会（司会：縣公一郎副理事長） 会場：ドイツ文化会館ホール
- 演者：Prof. Dr. Waldenberger（ドイツ日本研究所所長）
- 題目：「コーポレート・ガバナンスの日独比較」（日本語）
- 15:00～17:30 ドイツ研究留学説明会 会場：ドイツ文化会館内
1. 全体説明会 ホール（担当者は調整中）
 2. 専門別分科会は会館内に個別の部屋を手配
(分野別担当者と場所は決定次第連絡する。)
- 17:30～18:00 ミニコンサート 会場：ホール
- 「クラリネット五重奏曲イ長調」（Mozart）
- 演奏者5名：クラリネット、第1 ヴァイオリン、第2 ヴァイオリン、
ヴィオラ、チェロ
- 18:10～18:30 新理事会 会場：ホール内前方で開催（予定）
- 18:30～20:00 懇親会 会場：ホールと Foyer

Waldenberger 氏への謝礼は3万円。講演後の質疑応答等を考慮して講演時間は40分とする。
Waldenberger 氏の講演後に予定されている留学説明会の時間に、同氏と日本フンボルト協会
会員有志との懇談会が予定されている。場所については調整中。

(2) 留学説明会について

- 1) 担当の鏝田常務理事から説明があり、以下の要領で準備を進めることが確認された。
 - ① 参加者の募集は、ポスター等の準備が整い次第始める。
 - ② 各支部での広報活動、各大学の留学担当部局への資料の送付、学会のHPへの掲載などを行い、留学説明会の周知徹底を図る。

- 2) 分科会用の部屋の確保については、
 1. DAAD は DAAD 事務所内
 2. ホールを幾つかに分けて使用
 3. 富山県赤坂会館（約 30 名）
 4. ドイツ文化会館 4 階 405 号室（少人数）
 5. その他の部屋はゲーテの小さな教室を 4 月に入ってから予約の予定 などの方策により確保する方針が確認された。

- 3) 鏝田常務理事から、例年行っている留学説明会について、日本からのフンボルト財団奨学金への応募者と合格者が減少している現状を踏まえ、今後の説明会のあり方等について検討する必要がある旨の発言があり、意見交換が行われた。

(3) 次期役員候補者名簿について

- 1) 理事名簿は理事会で承認を受けた上で、総会に提案する。

東北支部：支部長を木村理先生から須田利美先生に交代。

関東甲信越支部：故西原理事の後任枠として、林香里評議員を新理事とする。

中四国支部：理事を大森会員から大下浄治会員に交代。

関西支部：故竹下常務理事の後任の理事枠として、山上浩志会員が新理事として、西川支部長より提案された。

- 2) 次期の常務理事の役割担当を検討しておく。

常務理事の所掌：総務、会計、留学説明会担当、渉外担当、広報・HP、書記等。

(4) 日独共同研究奨学金について

伊藤副理事長（同奨学金選考委員長）から同奨学金について以下の通り現状報告があった。

- 1) 寄付金について
 - ・ 寄付金の現在高：8,516,013 円（協会会員（198 名）からの寄付および外部の個人・団体からの寄付金 1,701,000 円の合計額）
 - 内 訳：奨学金への寄付（企業と個人よりの寄付を含む）が 7,380,178 円、
財政安定化への寄付は 1,135,835 円。
 - ・ 目標額は 1200 万円、うち奨学金基金として 1000 万円、財政安定化として 200 万円であり、まだ約 350 万円不足。
 - ・ 支援を受けた外部の企業・個人名：ドイツ語教科書協会、カメヤ、日本物産、城西大学、鹿島建設、小野元之様、福田泰彦様、大崎仁様。

2) 奨学金への応募状況

- ・問い合わせがあっただけでこれまで応募はない。現在応募準備中のものが2件、現在考慮中が6件である。これらすべての応募書類が提出されれば8件になる。うち2件までに奨学金が支給される。(その後、3月末までに11件(文系4件、理系7件)の応募があった。)

3) 奨学金基金規定、財政安定化基金規定(常務理事会承認)に基づき、それぞれ新たに口座を開設する方針が確認された。現在の口座は寄付金受け入れ期間の延長などの事態も考慮しながら口座の閉鎖や維持などを判断する。

①口座確定、②個人寄付金は、5月末には奨学金基金に振り込み、今年度の奨学金の給付(最大100万円)を可能とする。③9月末に募金目標額に達しない場合には、1年延長する。

- ・本協会の逼迫した財政状況を考えると、財政安定化基金からの速やかに一般会計に組み込む必要がある趣旨の意見が出され、この件については、9月末に検討することとなった。

(5) 会計収支報告

会計担当の高橋輝暁常務理事から、会計収支についての途中経過報告があった。

- ・2018年度の会費納入1540名中630名で、納入率は42%。引き続き、納入率を上げる方策を考える必要がある。
- ・財団より支援金であるAlumni基金の残金がなくなりつつある。
- ・奨学金に関わる事務費(印刷、用紙代38,966円)は、当面、予備費から補填する。この措置については決算表では備考で説明する。

(6) 支部報告

1) 北海道支部(居城支部長)

- ・3月20日に北海道大学で留学説明会を開催。10名ほどが参加。参加者の大部分は大学院生。留学説明会の後に支部総会と懇親会を開催した。
- ・次回の留学説明会は6~7月に、室蘭工業大学の海外語学研修説明会で行なう予定。

2) 東北支部(木村支部長)

- ・毎年5月の第2~3週にOBが集まる総会、講演会、懇親会を行い、支部会員のネットワークの構築に努めている。

3) 関東甲信越支部(伊藤支部長)

- ・3月30日に支部総会、講演会、懇親会を開催予定。講演は三島憲一先生。

4) 中部支部(種村先生、支部長代理)

- ・2018年秋に支部総会、懇談会、懇親会を開催した。今年度の予定については、これから幹事会で話し合う予定。

5) 関西支部(西川理事)

- ・2月24日に理事会と総会を開催した。今後、支部として留学説明会の開催を検討中。
- ・当日 Bauhaus100 周年を記念して、中島那奈子 DAAD 友の会会員の講演（演題：「踊る身体デザイン」）を行った。YouTube に掲載したが、その後、使用された映像等に関し著作権上の問題があり、掲載が削除された。

（7）その他

1) AvH 財団のロゴ使用問題について

- ・現在、協会HPで使用されている AvH 財団のロゴについて、同財団からロゴの使用は禁止されており、協会HP上のロゴを削除するように要請されているので、まずは、速やかに削除することが確認された。
- ・AvH 財団ロゴの使用については、本協会が設立された当時、財団から使用の許可を受けた経緯もあり、5月に同財団の Frau Schildt 氏が来日した際に、事実確認やロゴの使用の可能性などについて協議することとなった。
- ・協会のロゴについては、新たに作成するかなど、様々な角度から引き続き継続して検討することとなった。

2) 留学説明会に対する財団本部からの支援について

- ・各支部で行う留学説明会について、財団本部からの支援を受けられるかについては、財団本部から、参加者一人当たり 25 ユーロの支援を認めるとの回答を得たことを受け、この支援金の申請方法及び有効な活用法について、引き続き、常務理事会で検討することになった。

3) Humboldt-Kolloquium について

- ・2021年に東京で開催予定の Humboldt-Kolloquium については、現在、テーマが未定であるが、フンボルト協会としては、一案として、AI（ドイツ語では KI）を提案している。

4) 個人データの確認について

- ・現在、協会が把握している会員個人データに関して、協会としての information policy が決まっていないなど課題が存在しており、この件については、引き続き、常務理事会で検討することになった。

5) 理事長及び理事の選出について

- ・櫻田理事長から、今期をもって理事長職を退任したいので、次期理事長は世代交代も含めて関東甲信越支部から選出してほしい旨の発言があった。これを受けて、同支部としては、選出手続きなどを協議し、3月30日の支部総会で報告・了承された後に、4月以降に支部拡大理事会を招集し、選任作業に入る予定であることが報告され、常務理事会として了承された。
- ・協会役員世代交代などを踏まえ、役員定年制（例えば75歳定年制）などの導入について意見交換されたが、この件については、引き続き検討することとなった。

（以上）